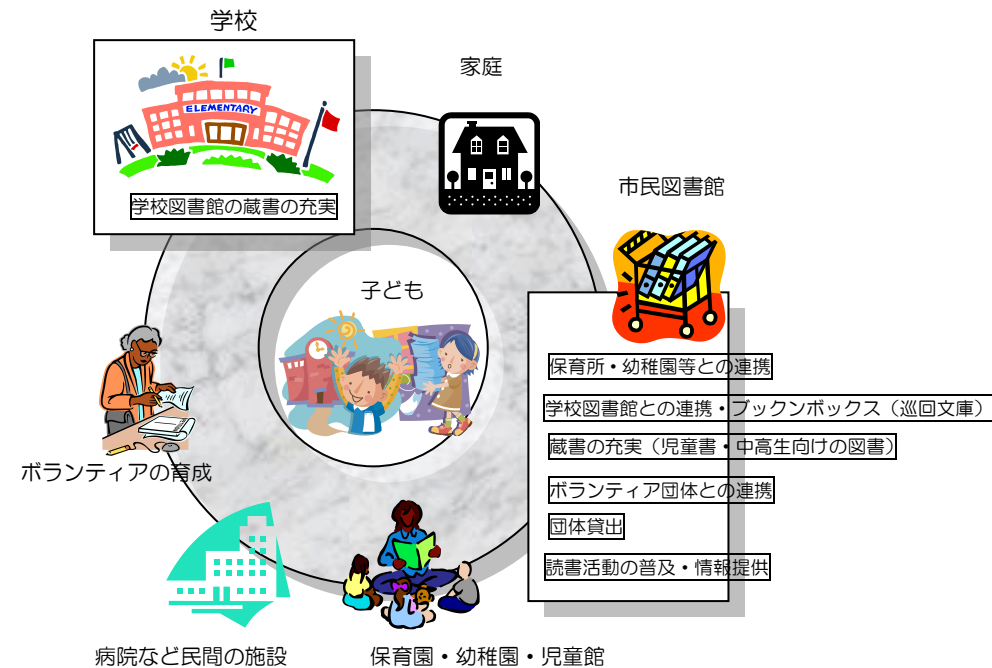


子どもの読書活動の基盤整備(抜粋)

子どもの生活の場は多岐にわたっており、読書活動を支える基盤も、家庭、幼稚園・保育園、学校、児童館、図書館など、様々な場所で行われる必要があります。読書活動の基盤の中でも特に重要なのが、豊富な本に触れる機会をできるだけ多く用意することです。読書に関する情報を積極的に発信し、家庭や地域での読書活動を支援します。

【子どもの読書活動の主な取り組み】



問合せ先

石狩市教育委員会 生涯学習部 市民図書館

Tel 0133-72-2000 / Fax 0133-73-9120

E-mail ishikari-lib@mail.ishikari-lib-unet.ocn.ne.jp

本編(詳細)は、石狩市民図書館HPからもご覧いただけます。

<https://www.ishikari-lib-unet.ocn.ne.jp/index.html>

石狩市子どもの読書活動推進計画

平成27年度第Ⅲ期策定(概要版)

(計画期間:平成27年度~平成31年度)

~ この計画は、石狩市に住む全ての子どもたちが、いつでもどこでも自主的に読書のできる環境づくりを目指し、その方向性や手法を定めたものです。計画の期間は、平成27年度から31年度までの5年計画です。石狩市教育プランの改定にあわせ、これまでの5年間における施策、取り組みを評価分析し、今後5年間の計画を策定します。~

パブリックコメント(意見募集)

●募集期間

平成26年12月22日(月)

~ 平成27年1月21日(水)

●本編の閲覧

石狩市民図書館本館、分館、厚田小学校図書館



石狩市民図書館

～ 子どもの読書活動の目的 ～ （抜粋）

子どもが本に接することができるようにするのは大人の役目です。一人ひとりの子どもが置かれた環境は様々ですが、私たち大人は、それぞれができる範囲で、すべての子どもがいつでも読書に親しめるような環境を整備しなければなりません。すべての市民が子どもの読書活動に対する意識を共有し、連携して取組を進めることができるよう、学校や図書館でどのような活動を行うのか、保護者や地域の人々にどのような役割を期待するのか、市民の活動を行政はどのようにお手伝いするのか、などについて明確に示すことがこの計画を策定する目的です。

子どもの読書活動推進のための取り組み ～発達段階にあわせて展開する施策・事業～ （抜粋）

乳幼児期に展開する施策・事業

施策・事業	施策・事業の概要
ブックスタート	10か月児健診会場でブックスタート・バック無料配布と、そのフォローアップとして、1歳6か月児健診会場における読み聞かせの実施
おはなし会	家庭や地域、幼稚園・保育園、市民図書館など様々な場所で、子どもたちが読み聞かせ※を楽しむ機会を、ボランティアの協力を得ながら提供
幼稚園・保育園・児童館との連携	幼稚園・保育園の図書館利用促進を図り、協力体制を構築
様々なイベントの展開	「子ども読書週間イベント」、「図書館まつり」、「科学に関するイベント」、「夏休み期間中のイベント」など、子どもたちが図書館に親しみをもって来館できる様々なイベントを展開
家読（うちどく）	第2のブックスタートとなるアプローチを検討し、家庭での読書を支援

小学生期に展開する施策・事業

施策・事業	施策・事業の概要
図書館利用ガイダンス	市民図書館の利用方法や調べ方についてのガイダンスを実施
ブックトーク	学校や市民図書館などでブックトークを実施
朝読書の充実	学校図書館やブックンボックス（巡回文庫）を活用した始業前の読書の充実
おはなし会	家庭や地域、学校、市民図書館など様々な場所で、子どもたちが読み聞かせを楽しむ機会をボランティアの協力を得ながら提供
調べる学習コンクール	図書館や学校図書館の資料、市内の様々な資源などを活用し、児童自らが調べてまとめるコンクールを実施
家読（うちどく）	第2のブックスタートフォローアップとして、長期休業中に家庭での読書を支援
ネットワークを活用した読書支援	石狩市民図書館に来ることのできない児童に対し、学校を介して石狩市民図書館の蔵書を活用する方法を検討

中学生・高校生期に展開する施策・事業

施策・事業	施策・事業の概要
図書館利用ガイダンス	市民図書館の利用方法や調べ方についてのガイダンスを実施
ブックトーク	学校や市民図書館などでブックトークを実施
朝読書の充実	学校図書館やブックンボックス（巡回文庫）を活用した始業前の読書の充実
自主的な活動の支援	本や図書館への関心を高め、能動的な読書活動につながるよう、公共施設での活動を充実
調べる学習コンクール	図書館や学校図書館の資料、市内の様々な資源などを活用し、生徒自らが調べてまとめるコンクールを実施